

まちづくり懇談会内容

日 時：令和 5 年 10 月 27 日（金） 18：30～19：50

場 所：鳩山中央公民館

出席者：5 人

1. 開会

2. 町長挨拶

※配布資料確認及び進め方の説明

3. 懇談

（1） これからのまちづくりについて（資料①）

（2） 自由懇談

教育長説明

4. その他

○ごみ分別内容の変更（資料②）

5. 閉会 町長挨拶

懇談会終了

《懇談内容》

【自由懇談】

町民：新聞で町内会の参加率、組織率が栗山町は低いという記事を見ました。隣の町村は 100%くらいであった。栗山は 50%くらいで全道の中でもワーストの方であった。町内会の人が減ってきて町内会の活動ができなくなっているという記事。

町長：自治会の方は 100%に近い組織率になっているかもしれないが、市街地の方に行くとアパートやマンションの方々が町内会に加入しないケースもありますし、アパートとして参加するという事があって、個々の参加にはなっていないなどいろんなケースがあると思う。参加率・組織率は確かに低くなっていると感じている。その高い低いによって人口減少が進んでいく中でコミュニティをいかに維持していけるか大事なことになる。町内会組織も含めて地縁の組織なので、行政がこうなさいという強制力を働かせることはできないけれども、我々が出来ることとしては、なるべく色んな方が町の行事や町

内会の行事も含めて参加を促していくような発信をしていければと思います。

町民：除雪に関して今年の冬、道道恵庭栗山線と三笠栗山線の雪が降ったとき除雪していき当然こぼれ雪があるが、恵庭栗山線で長沼の舞鶴橋から奥の方では家の入口付近まできれいに除雪していく。雪の量は違うかもしれないが同じ道道の三笠栗山線だがそこまでしてくれない。

町長：いま町でも除雪のあり方検討会議も行っている。実態を把握してみないとわかりませんが、確かに雪の量は違います。道の除雪をしながら家の入口もやるには1台では難しい。後ろからもう1台が付いていき除雪していくような形をとっているのかもしれない。そこも確認しながら、実際に出来るのか参考にしたいと思います。

町民：エコビレッジからシャトレーゼまでの桜丘鳩山線は草刈りしないのか。ガードレールもあるが全く見えない状況で、アカシアの木が張り出していて、たまにトラックが通ると真ん中を走ってくるので危ない。朝と夕方は交通量が多い。

町長：担当課へ確認するようにします。

総務課主幹：昨年は飛び出しているイタドリなどもありパトロールをして年2、3回草刈りを行っていました。今年の担当に管理について話しをしておきます。

町民：鉄路は大丈夫なのか。

町長：室蘭線の関係については、岩見沢、栗山、由仁、安平、苫小牧の2市3町とJRと北海道が入って協議会をつくり、今は利用促進策を講じているところ。ただコロナの影響もあり営業収益もかなりの赤字で改善されてないという状況で昨年は12億くらいの赤字。国の方でも赤字線区をどうしていくかという検討が始まり、いつの時期になるかわかりませんがその方針が出されるとのこと。いま上下分離という考え方があり、運行はJRがするけど、車両とか鉄路の維持はそれぞれの自治体負担というような話も出ている。それが決められてしまうと、2市3町でどういった協議になるかわかりませんが、維持が難しくなる可能性はある。鉄路を維持していくとなると相当な費用がかかる。室蘭線は苫小牧に向かっていく方はほとんどいなくて、ほとんどが栗山から岩見沢へ向かう朝夕の通学や通勤で利用されている。昼の数便がほとんど乗ってない状況。その問題もこれから厳しい状況になってくると思います。ここはJR貨物が主力で上川・旭川方面から苫小牧・室蘭港へと通っていますので線路自体はなくなることはないと思います。ただ人員輸送がどうなるかというところ。

町民：女子野球部はどれ位お金がかかっているのか。遠征とかで結構大変だと思う。

町長：道立高校なので部の運営自体は高校でという事になるが、後援会組織ができていますのでかなり資金力はあるという事です。例えばバッティングマシンや用具、遠征費も含め

て後援会からのお力添えがある。

教育長：スポンサーも徐々に増えてきていますので、後援会組織で主なものをしっかり守っていただきながら、部活動個人でスポンサーを獲得している。町全体としては学校に補助するという形の制度をつくっていただいている。その額が少ないかというのは議論していかなければならない。

町民：女子野球の子は卒業したらどこかへ行ってしまうのか。

教育長：他のチームをみても 3 分の 1 くらいの子は野球で進んでいく形が多い。栗山は介護福祉学校があり、野球部の中にも介護福祉学校を目指すために入っている子もいますのでそういった形で連携しながら進めていきたい。

町長：世界に色んなスポーツがありますが、人口減少等で目減りしている中で唯一スポーツ人口が増えているのが女子野球。伸びしろはあるだろうと思っている。高校の女子硬式野球については 10 年前まで全国で 5 校しかなかったが今は 60 校まで増えている。プロ野球でも女子硬式野球部を傘下に持っているという球団も増えています。さらに社会人の方でも増えている。彼女方が将来を通じて大好きな野球ができるような出口が充実していつているので、これから毎年 15 人くらい入って、50 人くらいのチームでやれば良いところまでいくのではと思います。北海道には駒大苫小牧、旭川明成、札幌新陽、栗山しかないがそこも少しずつ増えていけば活気が出てくると思います。先日、北海道主催でスポーツのまちづくりをしているところとして栗山が選ばれ、他に名寄市、遠軽も選ばれ事例発表してきた。いろんな町も栗山と同じように高校存続が危惧されて、何かしなければという思いである。たまたま、栗山は女子野球や学力向上対策を進めていくこととしている。遠軽はその先進地であり、ラグビー、野球も強くて道外からくる子のスカウト活動も頑張っているし、寮も 100 人近く入れるような立派な建物もあるという事例も聞いてきた。先を見通しながら色んな活動をやっていききたいと思います。

町民：岩見沢の高校が統合すると栗山は増えるのではないか。

教育長：岩見沢東高校と西高校が 3 年後に一緒になり、それにより間口が 1 つ減ります。しかし緑陵高校が間口 1 増となります。今一番人気があるのが緑陵高校で栗山からもかなりの生徒が通っている。空知全部で倍率が 1 を超えているのは緑陵高校のみで他は全て定員割れという状況下で、現時点でもかなりの人数が流れている。栗山は女子野球で 2 間口を維持しながら、介護福祉学校に 1 人でもという形で勉強させていますが、緑陵高校だけはきちんと対峙していかないといけない。過去に緑陵高校は道立に返したいとお願いしてきたが、結論から返せなかった歴史があります。そこでいろんな取り決めをして、退職する先生を出さないことで道立に返さないという方法を岩見沢はとりました。そのため、相対的に若い先生が多いので活気があるように見える。退職間近の先生は入ってこない。いろんな理由はありますが、そこが一番大きい。先生の人事は道教委が行うが、運営

は全て岩見沢市が行っている。

町民：生ゴミはスーパーの袋とか入れて燃やせるゴミの中に入れてもいいのか。三角コーナーの網のものも入れていいのか。

環境政策課長：入れても結構です。できれば水分を切っていただきたいともあります。燃やせるゴミが増えますので、そのイメージをしていただけるような内容で、2月配布予定の新しい冊子をつくっている最中です。